

ファゴット演奏者倶楽部第9回演奏会

2022年9月23日(日)14時開演 荻窪Gran Duo

ゲバウアー	(仏/1773~1845)	「2本のFgの為の協奏的二重奏曲作品44の10」	(Fg)森川・吉倉
パチオールキュービッチ	(波/1934~)	「マシクは行く」	(Fg)尾作・大石・山田・阿部
J.S.バッハ	(独/1685~1750)	JS.バッハ「12のコラール」から	(Fg)尾作・吉倉・大石・山田
いろいろ		ファゴット四重奏メドレー 「2つの親しみのあるクラシック・時の踊り・タスティタンゴ」	(Fg)阿部・尾作・吉倉・大石
ベートーヴェン	(独/1685~1750)	「Fl.ObとFgの為の三重奏曲」	(Fl)信澤 (Ob)山本 (Fg)山田
M・ハイドン	(奥/1737~1806)	「嬉遊曲」	(Fl)信澤 (Ob)楠原 (Hn)萩原 (Fg)阿部
ゲバウアー	(仏/1773~1845)	「ClとFgの為の協奏的二重奏曲第2番」	(Cl)庄子 (Fg)尾作
--- Intermission---		--- Intermission---	
ベゾツツィ	(仏/1814~1879)	「ソナタ」	(Ob)山本 (Fg)森川
ジェイコブ	(英/1895~1984)	「シンプル セレナード」 <small>純粋木管四重奏曲</small>	(Fl)信澤 (Ob)楠原 (Cl)兼氏 (Fg)吉倉
タウシュ	(独/1762~1817)	「5つの小品」	(Cl)兼氏・庄子 (Hn)萩原 (Fg)大石
ムソルグスキー	(露/1839~1881)	「展覧会の絵」から「プロムナードとキークウの大きい門」	(Fg)阿部・尾作・吉倉・大石 (Kfg)山田
パウニング	(豪/1949~2020)	「3Ob、2FgとK.Fgの為の バイオニック・ミュージック」	(Ob)土屋・楠原・山本 (Fg)辻・阿部 (K.Fg)山田

出演者の簡単なプロフィール(50音順)

ファゴット演奏者倶楽部のメンバー

阿部憲一(あべ けんいち) 本日の使用ファゴット~Heckel

京都大学交響楽団で活躍する。ファゴットを光永武夫氏、森正彦氏、日名弘見氏に師事。現在は東京アマデウス管弦楽団、アンサンブル・メゾン、管楽合奏は楽しい会?で演奏活動。大手化学会社に42年勤務し、この3月に退職。音楽を中心に、毎日日曜の生活が始まった。ポケ防止と、健康寿命を延ばすため、体力と筋力の強化も課題。忙しくなりそうである。ファゴット演奏者倶楽部設立世話人

大石龍巳(おおいし たつみ) 本日の使用ファゴット~Püchner

京都大学交響楽団で活躍する。阿部氏の後輩である。現在はアンサンブル・メゾン、管楽合奏は楽しい会?で演奏活動中。本業は地方公務員。横浜で街づくりの仕事に携わっている。日く、天気の良い日のランドマークタワーの眺望は最高。演奏会にお出での皆さん、横浜に行きましょう!

尾作拓郎(おさく たくろう) 本日の使用ファゴット~Yamaha Custom 811

1984年生まれ、神奈川県出身。法政大学第二高等学校の吹奏楽部にてファゴットを始め、法政大学交響楽団を経て、同大学卒業後はシステムエンジニアとして大規模金融システムの開発をする傍ら、週末に積極的に演奏活動を行っている。現在は管楽合奏は楽しい会?に所属。ファゴット演奏者倶楽部設立世話人

(Fg)辻 昭雄(つじ あきお) 本日の使用ファゴット~Heckel

法政二高吹奏楽部で法政大学、同大学院では同交響楽団にてファゴットを演奏する。ファゴットを森川一氏に師事。現在は東京アマデウス管弦楽団及びフライハイ交響楽団、管楽合奏は楽しい会?に所属。普段は母校である法政二高で教鞭を採っている。ファゴット演奏者倶楽部設立世話人

(+解説)森川 一(もりかわ はしめ) 本日の使用ファゴット~Pickert (日本に一つしかない珍品)

法政大学在学中ファゴットを始め、菅原暉氏に師事。同校卒業後、東京藝大別科で三田平八郎氏に、その後元ハンブルク州立劇場奏者フリッツ・ヘンカー氏に師事する。フリーの奏者として活動し今日に至る。78年より毎年ソロ及び室内楽の演奏会を主催。その他オケのトレーナー、文筆など多岐に渡る活動を行う。「管楽合奏は楽しい会?」及び「フルスヴァルト合奏団」「森川室内楽」などを主宰、またリード製作者としても高い評価を得ており「森川ファゴット&リード倶楽部」を運営している。ファゴット演奏者倶楽部設立世話人代表

山田祐理 (やまだ ゆうり) 本日の使用ファゴット～Mollenhauer

10歳くらいまでヴァイオリンを、中学でユーフォニウムを吹き、法政二高吹奏楽部でファゴットを始める。その後法政大学交響楽団、ジュネス等で演奏。ファゴットを森川一氏に師事。現在は東京アマデウス管弦楽団、ナズドラヴィ・フィルハーモニー、管楽合奏は楽しい会?で演奏するほか、エキストラとして数多くのオケに出演。背にはコントラ、手にはファゴットを持ち東奔西走している。平日は大学教員(物理化学)。ファゴット演奏者倶楽部設立世話人

吉倉弘高 (よしくら ひろたか) 本日の使用ファゴット～FOX 600SS

高校入学と同時にファゴットを始め、加藤洋男氏に師事。その後横浜国立大学管弦楽団でオーケストラ活動を開始。大学卒業後、三鷹市管弦楽団を経てダンゲダーク管弦楽団、ナズドラヴィ・フィルハーモニーで活動中。また大学在学中から休止になる2001年までジュネスに参加し、最後の青少年音楽祭では首席を務めた。

註)ジュネス JEUNESSES MUSICALES 青少年音楽世界連合～ユネスコ傘下組織/本部ブリュッセル～日本ではNHKに支部があり、東京その他で25歳以下(後に30歳未満)の若者を対象に毎年音楽祭(合唱・マンドリンオーケストラ・交響楽団)を催したが、2001年を最後に日本での活動を休止した。

賛助出演の方々(パート別50音順)

(Fl)信澤達也(のぶさわ たつや)

高校1年のとき隣席の友人の勧めでフルートを始め、磯辺庄平氏に師事。東京大学音楽部管弦楽団を経て卒業後は東京アマデウス管弦楽団(2009～2014は団長)で活動。鉄鋼系化学メーカーで永らく研究職を勤めたが現在は特許関係の仕事に移った。終日机に向かう仕事なので運動不足が気になる気になる昨今である。現在、職場のビッグバンドでは何とバストロンボーン兼コンサートマスターとして活動中。ここ10年程は管楽合奏は楽しい会?の為にオリジナル編曲をしている。

(Ob)楠原千佳子(くすはら ちかこ)

中学からオーボエを始め、藤原勲氏に師事。東京大学音楽部管弦楽団を経て、現在は東京アマデウス管弦楽団及びアンサンブル・メゾン、管楽合奏は楽しい会?に所属。大学～大学院を通して、コンクリート相手の研究で手がザラザラした時期もあったが、現在は少し手にやさしい社会人となった。

(Ob)土屋英晃(つちや ひであき)

東京都出身。14歳よりオーボエを始める。桐朋学園大学音楽学部、同卒業演奏会出演。同大研究科修了。第12回別府アルゲリッチ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン2011にオーケストラメンバーとして出演。2009年、市川市文化振興財団第22回新人演奏家コンクール管楽器部門で優秀賞を受け新人演奏会に出演するなど同財団主催の演奏会に多数出演。コンセール・ヴィヴァン第29回新人オーディション合格し優秀賞を得る。オーボエを藤村理子、宮本文昭、嶋崎耕三、浦丈彦の各氏に、また室内楽を白尾彰、岡本正之の各氏に師事。洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団、洗足学園音楽大学演奏要員を経て、現在はensemble le creuset、市川文化振興財団フレッシュアーティストバンクに所属、柏市音楽家協会会員。

(Ob)山本悦子(やまもと えつこ)

中学でオーボエを始め、専修大学フィルハーモニー管弦楽団を経て、2001～2013年までエルムの鐘交響楽団にて、その後合奏団ZEROで2020年まで活動。2008年にハルモニア合奏団で管楽合奏を始め、2014年から「管楽合奏は楽しい会?」、2021年から大田フィルハーモニー管弦楽団に参加。勤務先の病院では広報・図書室・院内コンサートなどの担当をしている。自他ともに認める無類のパンダ好きで、シャンシャンの名付け親の一人である。上野と和歌山に通い、予パンダの成長を楽しみに見守っている。

(Cl)兼氏規雄(かねうじ のりお)

東京藝術大学附属高校を経て同大学卒業。ミュンヘン国立音楽大学留学。NHK洋楽オーディション合格。NHK「午後のリサイタル」等に出演。水戸芸術館「公募企画シリーズ」の第1回出演者に選出されリサイタルを開催。08年、東京オペラシティでのリサイタルについて、「音楽の友」誌上で絶賛される。水戸芸術館主催の「茨城の名手・名歌手たち」オーディション審査員、「茨城の演奏家による演奏会企画」選考委員、茨城県の新人演奏会出演オーディション審査員、新人賞選考委員。また、日本クラシック音楽コンクールの全国大会木管楽器部門審査員も務める。現在、上野学園大学音楽学部、茨城大学教育学部、大東文化大学文学部講師、水戸ゾリス代表。フルスヴァルト合奏団同人

(Cl)庄子穂奈美(しょうじ ほなみ)

1990年宮城県に生まれる。中学の吹奏楽部でクラリネットを始める。高校からレッスンに通い、昭和音楽大学短期大学部を卒業。クラリネットを千石進、堀川豊彦氏に、室内楽を太田茂氏に師事。管楽合奏は楽しい会?で演奏活動中。

(Hn)萩原裕人(はぎわら ひろと)

中学でホルンと出会い、中高大と学生時代オーケストラで活動。社会人となってからも東京、名古屋、ニューヨークの各地でオーケストラ団体等に参加。現在は東京アマデウス管弦楽団、ブラスアンサンブルセレスト、管楽合奏は楽しい会?等を中心に活動。楽器を始めて20余年、キレのある演奏を目指して精進中。

本日のご来駕、誠に有難うございます。2019年に始まった流行病の所為で、対面での演奏が出来なくなりました。それでもファゴット演奏者倶楽部の演奏会は制約があっても、何とか続けました。元々お客さんの少ない会なので、それが逆に幸いしたのかも知れません。自虐ネタです(笑)。漸く制限の無い演奏会を開ける様になり、通常の手続きで今日の演奏会に漕ぎ着けました。この先もこのまま続けたいと思っています。管楽器の演奏会は馴染みの無い作品が多いので、楽器編成を変えて面白く聴いて頂ければと工夫を凝らして構成していますが、それでも飽きられるのでは、と常に心配です。今日の出し物に気に入って頂ける曲があれば幸いです。

苦言提言などございましたら、以下のメールアドレスにお寄せ下さい heckelbasson@yahoo.co.jp